

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：北陸地方整備局 地域道路課
 担当課長名：長森 孝司

事業名	主要地方道 佐渡縦貫線（小佐渡縦貫道路）	事業区分	地方道	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県佐渡市外山 至：新潟県佐渡市飯岡			延長	6.2km
<p>事業概要</p> <p>主要地方道佐渡縦貫線は、佐渡市入川から佐渡市羽茂に至る延長約74.2kmの主要幹線道路であるほか、商業・医療の中心地国仲地区を縦断し、生活基盤を支える重要な路線である。小佐渡縦貫道路は、集落間を結ぶともに国道350号の代替道路として位置づけられる延長6.2kmの2車線道路である。</p> <p>本事業は、当該区間の狭隘箇所の拡幅及び落石危険箇所を回避するため改良を行うものである。</p>					
H7年度事業化	都市計画決定なし	H8年度用地着手	H9年度工事着手		
全体事業費	約59億円	事業進捗率	57%	供用済延長	3.2km
計画交通量	1,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)※ 1.4 (残事業) 1.5	総費用：(残事業)/事業全体 22/23億円 事業費：20/21億円 維持管理費：2/2億円	総便益：(残事業)/事業全体 32/32億円 走行時間短縮便益：28/28億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：0/0億円 その他便益※：3/3億円	基準年：平成17年	
<p>事業の効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間の解消） 災害への備え（緊急輸送道路としての機能強化、防災点検要対策箇所の解消が見込まれる） <p style="text-align: right;">他7項目に該当</p>					
<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>主要地方道佐渡縦貫線は、地域交流の促進、消防15分圏・救急30分圏の拡大等に重要な役割を果たすことが期待されており、佐渡市「新市建設計画」の骨格をなす幹線道路として、事業促進が望まれている。</p>					
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>当工区では、法面崩壊等の災害がたびたび発生しており、それに伴う全面通行止め等の交通規制が生じていることから、早急な道路整備が求められている。</p>					
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>現在までに外山工区の3.2kmを部分供用済。残事業は、道路拡幅部分L=3.0kmである。</p>					
<p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</p> <p>用地難航箇所があり時間を要したが、地権者の合意が得られ、用地難航箇所がほぼ解消されるため、今後の整備促進が見込まれる。</p>					
<p>施設の構造や工法の変更等</p> <p>特になし</p>					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
<p>事業概要図</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 事業全体：区間の一部に部分供用があるため、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。
 ※ その他便益：佐渡島特有の地形条件のため、災害等により交通規制が発生すると大幅な迂回が生じることから、それらに伴い発生する時間的損失等が道路整備により解消されることで得られる便益。